

2012年 4月13日

未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第35号



あたらしい気持ちで・・・スタート！！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2，3年生の皆さん、進級おめでとうございます。新しい教室に慣れてきた頃でしょうか。

新年度が始まりましたが、それぞれの学年によってこれからの一年間の意味合いというのは違ってきます。「去年と違う今年の僕・私」のスタートです。1年生の皆さんはまず新しい環境に慣れ、新しい仲間とのつながりを作り上げる「芽生えと生長の季節」です。2年生はもう先輩。いつまでも甘えてはいられません。学校の中心となり、様々な場面で全力で活躍する「開花の季節」となります。3年生はいよいよ就職活動に突入です。高校生活のまさに「結実の季節」と言えます。人生は百人百様、生き方はそれぞれ違います。自分自身はこの一年間で何ができるのか、何をどうしたいのか、自分らしい生き方を自分で考え、毎日を大切に過ごして欲しいと思います。

さて、支援部だより「未来への扉」を今年度も発行させていただきます。特別支援教育や福祉に関する情報や、ちょっと元気になれるようなエッセンスをお届けしたいと考えています。

支援部の動きは校内支援と校外支援に分かれます。校内支援は、生徒支援・保護者支援・担任支援等を、直接・間接的にを行います。支援に際しては、校内の各部署や学校外の様々な機関・職種との連携を大切にしています。校外支援（地域支援）は、主に三田市内の小・中・高等学校の巡回教育相談・職員研修会等を行っています。

お気軽にご相談ください

保護者支援には、「教育相談」があり、支援部が直接相談をお受けすることができます。普段は、担任の先生をはじめ学年の先生方に相談なさることが多いと思いますが、発達や障がいに関すること、福祉に関することなど、お気軽にご相談ください。教育相談のお申し込みは、電話（079-563-0689）、ファックス（079-563-5632）で支援部（聾城）宛てか、担任を通じてお願いいたします。

又、本校では、スクールカウンセラー（臨床心理士）による「カウンセリング」も実施しています。生徒はもちろん、保護者の方の相談も承っています。こちらは、担任を通じてお申し込みください。



人は誰でも悩んだり、迷ったり、行き詰まったりするものです。そんな時、話を聞いてもらったり、相談したり、適切な情報を得ることによって、心が軽くなったり、「よし」と気持ちが定まったり、道が開けることって意外に多いものですね。ご活用いただければうれしいです。

平成24年度 支援部員の紹介

本年度の支援部は、以下のメンバーです。よろしくお願いいたします。

支援部長…簗城 ゆかり（たかぎ ゆかり）

多くのことを学ばせていただき、私自身、ささやかながら非常に豊かで充実した人生を歩ませてもらっていると感じています。私の周りの全ての人・物・事に感謝です。今年も笑顔で頑張ります！よろしくお願いいたします。

支援副部長…高橋 則子（たかはし のりこ）

本年度より支援部でお世話になります。少しでも皆さんのお手伝いができるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

学年支援部（1年）…大村 実穂（おおむら みほ）

皆さんがより良い学校生活を送れるように、そしてステキな社会人となれるように、サポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学年支援部（2年）…三輪 豊志（みわ とよし）

昨年度に引き続き支援部になりました。しっかり生徒の様子を見て支援ができればと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

学年支援部（3年）…野村 聡（のむら そう）

「みんなと違うことは、おかしいことではないぞ。なぜなら、みんなが、みんなとは違うからだ。」7年前に作った劇のセリフを思い出す、今日この頃です。

～保護者の皆様～ 各地域で「サポートファイル」が導入されていると思います。ファイルをお持ちで活用をご希望の方は、担任までご提出ください。在校中お預かりし、卒業時に本校在籍中の資料を追加してお返しいたします。